

2020年度は、2021年度以降のASJがどういう組織として、今後活動を行っていくか、一度立ち止まって検討する1年にしたいと思います。2020年度を通して、ASJのミッションやビジョンの見直し、これまでのASJの成果の検証などを行うことを通して、最終的に「ASJのミッション・役割・活動形態についての方針（案）」としてまとめたいと思います。そのため、従来のプロジェクトごとのSEED PLANの作成は行わず、ASJ全体としての2020年度の活動計画案となります。

また、ラボという名称で、新しい活動のかたちを模索していきたいと思っています。エコ貯金ラボ（エコ貯金プロジェクトとしては、2019年度で活動終了）は、2020年4月から2～3週に一度、テーマを決めて話題提供者からの発表とそのテーマについて話し合う内部勉強会の場として、オンラインで活動を開始しています。来年2021年は、A SEED JAPANが誕生して30周年を迎えるので、「ASJ30周年実行委員会」も立ち上げたいと思います。

<活動計画の全体像>

1、SEED ラボ（若者の居場所づくり検討中）

※ 若者が集える場をつくる

2、エコ貯金ラボ

※ 2020年4月から2～3週に一度活動中（毎回テーマ発表、意見交換）

※ 「持続可能な社会に向けた社会的金融文化の醸成」をゴールとして、情報発信やオンラインセミナー、個別相談（社会的金融商品の紹介）などを視野に考えています。

3、アクセスラボ

※ オリエンに参加した人の入り口の場（個人の問題関心にフォーカスする）

4、ASJ30周年実行委員会を立ち上げる

5、作業部会（名称仮）：活動メンバー&OBOGに呼びかけ

- 1)ASJが果たしてきた役割と社会的成果を検証する
- 2)外部環境：世界情勢やNGOの活動動向を知る勉強会の開催
- 3)内部関係者やステークホルダーにASJへの期待をヒアリング
- 4)「ASJのミッション・役割・活動形態についての方針（案）」をとりまとめる

※頻度：1カ月に1回開催。ヒアリングなどはその都度行う。

※第1回は、総会后、2020年8月開催を想定。

